

興亜産業(株)の事業基盤強化計画(抜粋)

企業概要

- 1920年(大正9年)高松で創業。内航小型船の専用造船所として、油槽船やケミカルタンカーを得意としている。
- 船舶のメンテナンスにも注力し各種検査、船体・配管・機関の修理、船室のリフォーム等船舶の長寿命化を図っている。
- 2022年3月に世界初のピュアバッテリー電気推進タンカー「あさひ」を建造した。



計画の概要

- 2050年のカーボンニュートラルに向けて、さらなる環境性能の高い「エコシップ」の建造に取り組む。
- 具体的には、現状ピュアバッテリー船が抱えるコスト上昇や航続距離等の課題を解消すべく、2028年を目標として、バッテリーとディーゼル発電機を併用したハイブリッド船舶の建造に取り組む。
- 併せて、LNG燃料船や水素燃料船の検討・開発を進めつつ、まず足元ではバイオメタノール等を動力源とした船舶の建造に取り組む。
- これらに加え、引き続きピュアバッテリー船等の導入・実証を行い「エコシップ」の油槽船やケミカルタンカーを主力商品に転換する。
- 修繕事業についても、電動船のバッテリー交換等の新たなメンテナンス需要への対応を進める。



<計画実施期間> 2023年6月～2028年3月

<実施場所> 興亜産業(株) 本社工場(香川県丸亀市)

ピュアバッテリー電気推進タンカー